Dream Ware

Drive PRO V1-DP1

取扱説明書

ご使用の前に本取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。事故防止など安全のために、注意事項は必ずお守りください。お読みになられたあとは、大切に保管してください。

目　次

本製品の特長 03
安全上の注意事項 04
製品の構成 06
取り付け方法 07
動作確認を行う 08
録画する 09
- 録画の準備 09
- 常時録画 09
- 音声録音 09
- イベント録画 10
- 駐車モードで録画 10
- 録画内容をリアルタイムで見る 11

SDカード 12
- SDカード使用時の注意事項 12
- SDカードのエラーとフォーマット 12
- 保存容量別のファイル生成数 13
- 常時録画ファイルとイベント録画ファイル 13

ボタン動作·音声案内·LEDランプ一覧表 14
専用Viewerのダウンロード 15
専用Viewerの使い方 16
- ファイルを再生する 17
- 地図との連動 18
- 3Gセンサーのデータ分析 19
- 再生画面の印刷、画像の保存 19
- 環境設定と反映の仕方 20

ソフトウェアのアップデート 21
製品仕様 22
保証書 23

本製品の特長

本製品は追突、衝撃、急発進などの車両事故発生時に映像、音声、位置などの情報を保存し、事故の原因を分析したり、ドライブの思い出を記録したりする装置です。専用viewerを使って録画された映像をパソコンで再生することができます。

GPSと連動した高画質録画

GPSセンサーを利用して、車両の走行位置、速度、3Gセンサー情報などのデータを取り込みながら、130万画素の高画質で録画ができます。音声録音のオン･オフの切替えもできます。SDカードのデータがいっぱいになると、古いデータから上書き保存していきます。

衝撃発生時の映像の自動保存（イベント録画）

3Gセンサーが事故や急ブレーキ･急ハンドルなどの衝撃を受けると、イベントとして別ファイルとして保存します（イベント録画）。、衝撃検知時前後のみを録画するのではなく、常にリアルタイムで録画を行い、常時録画とイベント録画に分けていますので、安定性のある録画が確保できます。また手動のボタン操作でイベント録画をすることもできます。

本体操作時にわかりやすい音声案内

本体操作時に『GPS情報を受信しました』『音声録音を終了します』などと音声で案内をしてくれるので、簡単に操作ができます。

専用viewer（ビューアー）によるデータの再生

専用のviewerを使うことで、保存データを再生することができます。googleマップを利用した走行経路、3Gセンサー情報を確認できます。

安全上の注意事項

ご使用の前にこの「安全上の注意事項」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。またお読みになられたあとは、大切に保管してください。

⚠ 警 告

- 本製品は絶対に分解·改造したり、水につけたりしないでください。火災·感電·故障の原因になります。
- 本製品は運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。また、エアバックなど自動車の機能の妨げにならない場所に取り付けてください。自動車事故や、故障の原因になります。
- 運転者は走行中に本製品の操作をしないでください。前方不注意による事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。また手動でイベント録画をする際は、周囲の安全を十分確認した上で素早く操作してください。

⚠ 注 意

- 製品に無理な衝撃を加えたり、異物を差し込んだりしないでください。発火や故障の原因になります。
- 製品のフォーマット中、アップデート中は、電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。致命的なエラーを引き起こす可能性があります。
- 必ず専用の電源ケーブルをお使いください。また電源は車内のシガーソケット以外は使用しないでください。
- 本製品はGPS機能を有しています。他のエレクトロニクス製品と干渉しないようご注意ください。またGPSが受信できる位置に設置してください。

安全上の注意事項

⚠ 注 意

- 車種によっては、キーを抜いても、シガーソケットから電源が供給され、バッテリー上がりの原因となります。このタイプの車に取り付ける場合は、エンジンを切ってから、必ず本製品をシガーソケットから取り外してください。
- LED信号機は、目に見えない速さで点滅しているため、記録画像の信号が高速点滅して映る場合があります。LED信号機が映らない問題に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- SDカードを抜くときは必ず電源が切れていることを確認してください。記録中にSDカードを抜くと、データが紛失する恐れがあります。
- 本製品は使用方法に間違いがなかった場合でも、画像やデータの記録を完全に保証するものではありません。本体に保存されたデータの消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。
- 記録された画像や音声は、法的手続きにおいて、事故の参考記録として有効に使用いただくことができますが、直接的証拠として採用が保証されるものではありません。
- 日本国以外では使用しないでください。
- 本製品の仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

⚠ 取扱上の注意

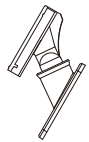
- 本体の汚れは柔らかい布でふき取るか、中性洗剤を薄めた水で湿らせた布をよく絞って拭きとってください。

製品の構成

■ 内容物の確認

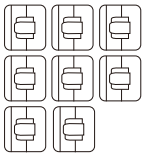
はじめに部品が揃っているか確認してください。

本 体
×1



ブラケット
×1

電源ケーブル
×1

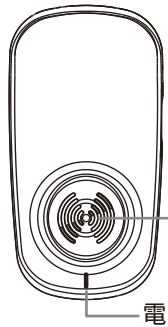


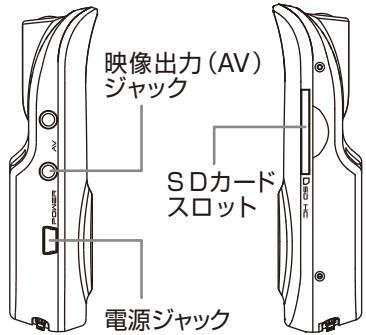
配線クリップ
×8

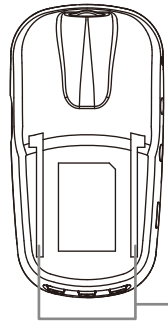
SDカード(4G)
×1
（本体に挿入
されています）

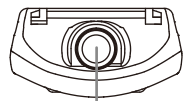
取扱説明書
×1

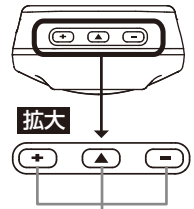
■ 部品の名称









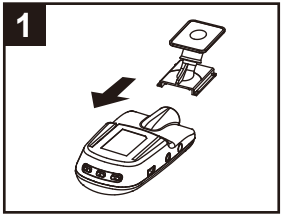


取り付け方法

エンジン／電源をOFFの状態で行ってください。

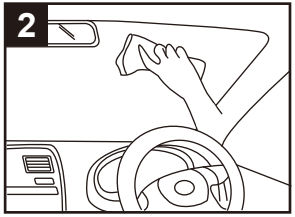
※ デフォッガー（熱線）上に取り付けると、取り外し時にシールの粘着力によりデフォッガーを剥がす恐れがありますので、デフォッガーの上には取り付けないでください。

1



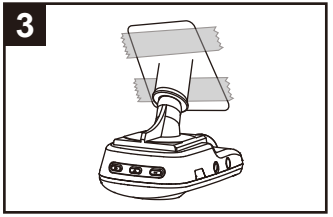
本体裏面の差し込み口に図のようにブラケットを矢印の方向に差し込んでください。

2



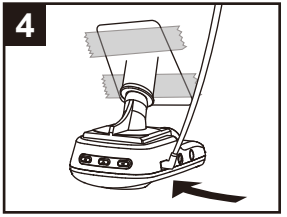
ブラケットを取り付ける窓ガラスの上に異物がつかないようにきれいに拭いてください。
フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けください。

3



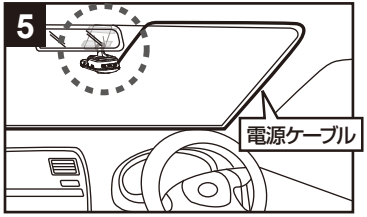
本体が図のように逆さまになるようにして、セロハンテープなどで**仮止めしてください。この段階では、まだ両面テープを使わないでください。**

4



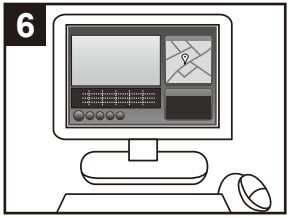
電源ジャックに電源ケーブルを差し込みます。また、（+）（－）（△）ボタンが押しやすいかどうかを確認してください。

5



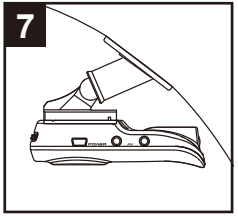
電源ケーブルを助手席（または運転席）側のフロントガラス枠周辺にはめ込み、配線クリップで整理し、シガーソケットに差し込んでください。

6

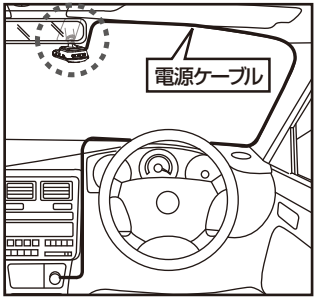


8ページの「動作確認を行う」を行ってください。

7



映像を確認してカメラ位置を微調整後、**両面テープでしっかりと取り付けてください。**



完成図

動作確認を行う

初めて起動するときに、下記の手順に従って動作確認を行ってください。

1. 7ページの **1** ～ **6** までをしっかり行ってください。

▼

2. 付属のSDカードが挿入されていることを確認してから、エンジンを入れてください。紫色のランプが点灯し、『システムを開始します』という音声が流れることを確認してください。また、赤いランプが点灯していることを確認してください（点滅しているときは、GPSが受信されていません）。

▼

3. エンジンを切って、『システムを終了します』という音声が流れ、LEDランプが消灯したことを確認してから、SDカードを抜いて、映像が記録されていることをパソコンで確認してください。
→ 専用viewerの使い方16ページ参照

録画する①

録画の準備

1. 本体にSDカードを差し込んだ状態で電源を入れると（エンジンをかけると）、紫色のランプがつきます。
2. 電源ケーブルを差し込んで約10秒後に動作準備が完了すると、『システムを開始します』という音声案内が流れ、映像録画が開始されます。
3. GPS情報がきちんと受信されると赤色のランプがつき、受信されていることを確認できます。受信されていない場合は、赤色のランプが点滅します。

常時録画

1. 『システムを開始します』という音声が流れると自動的に録画を開始します。地下駐車場などGPS情報が受信できない場所から走行させると、地上に出てから、GPS情報を受信するまでに時間がかかる場合があります。
2. エンジンを切ったり、シガーソケットから電源を抜くと、『システムを終了します』という音声が流れ、青色のランプがつきシステムが終了します。**SDカードを抜く場合は、ランプが完全に消えてから抜いてください。完全に消えてから抜かないと、データが破損する恐れがあります。**

… 常時録画アイコン（専用Viewer上で確認）

音声録音

1. **音声録音の使用**　音声録音の解除状態で（+）ボタンを3秒以上押すと、『音声録音を開始します』という音声案内が流れ、録音を開始します。初期設定時は音声録音OFFになっています。
2. **音声録音の解除**　音声録音使用中の状態で（+）ボタンを3秒以上押すと、『音声録音を終了します』という音声が流れ、録音を終了します。

録画する②

イベント録画

1. **自動イベント録画**

常時録画中に、3Gセンサーが検知した衝撃量が一定の値を超えると、『♪ティロリロリン』というメロディが流れ、イベント録画を開始します。3Gセンサーが検知する感度は10段階で調整できます（20ページ参照）。

※ 高速道の道路の継ぎ目などを走行する際は、3Gセンサーが衝撃を頻繁に検知し、イベント録画が連続する場合があります。必要に応じて、3Gセンサーの敏感度を下げてお使いください（20ページ参照）。

2. **手動イベント録画**

本体の△ボタンを一度短く押すと、『♪ティロリロリン』がというメロディが流れ、イベント録画を開始します。また、手動でイベント録画をする際は、周囲の安全を十分確認した上で素早く操作してください。

(録) … イベント録画アイコン（専用Viewer上で確認）

駐車モードで録画

1. **自動駐車モード録画**

車両が一定時間（viewerの環境設定で設定した時間）動きがないと、自動的に駐車モード（30fps→5fps）にして録画します。3Gセンサーによって動きが検知されると、走行モード（5fps→30fps）に自動的に戻って録画します。初期設定では、自動駐車モードの時間設定はOFFになっています。

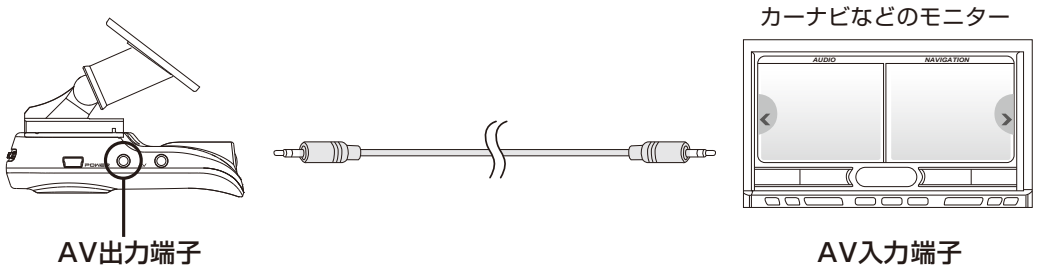
2. **手動駐車モード録画**

手動で（ー）ボタンを3秒以上押すと、駐車モードで録画します。もう一度（ー）ボタンを3秒以上押すと、駐車モード録画を解除します。手動で駐車モードに入る場合は、再起動または手動で解除をするまでは自動解除されませんのでご注意ください（20ページ参照）。

(P) … 駐車録画アイコン（専用Viewer上で確認）

録画する③

録画内容をリアルタイムで見る



本体のAV出力端子とカーナビなどのモニターをAVケーブルで接続するとリアルタイムで録画内容を確認できます。AVケーブルが運転の邪魔にならないように取りつけてください。また、カーナビの電源は別途ご準備ください。
AVケーブル：3.5φ3極ケーブル（ケーブルは付属していません）

SDカード①

SDカード使用時の注意事項

本製品に付属したSDカードは本製品以外には使用しないでください。
本製品に関連のないデータをコピーしたり個人的な目的に使用する場合、致命的なエラーまたはSDカードのデータが削除される恐れがありますので、十分にご注意ください。
本製品に付属されていないSDカードで使用し問題が発生した場合には、責任を負いかねます。ご注意ください。

- SDカードは録画データの信頼性のために定期的に交換することをお勧めします（年1回程度）
- SDカードを新しく導入する際は、 必ず互換性の可否を確認して購入してください。
  詳しくは、**http://www.dreamware.jp/driverecorder/** をご覧ください。
- SDカードを出し入れする際は、必ず電源ケーブルを抜くか、エンジンのかかっていない状態で行ってください。
- SDカードの読み込みには、カードリーダーが必要です。使用する際は、USB2.0用のカードリーダーをご使用ください。

SDカードのエラーとフォーマット

1. 本体の△ボタンを7秒以上押すと、『SDカードをフォーマットしますか』という音声が流れます。(+)ボタンを押すとフォーマットを開始し、(ー)ボタンを押すと、フォーマットしません。

2. SDカードにエラーが発生した場合、自動で音声メッセージが流れますので、必要に応じて(+)ボタンを押してフォーマットしてください。ただし、フォーマットするとデータはすべて削除されますので重要なデータは必ずバックアップしてください。

   ※ 専用Viewerの環境設定上のフォーマットはパソコンで一般的に使うフォーマットです。録画をする際には、必ず上記2でフォーマットしてください。

   ※ フォーマット完了までは約8～10分程度かかります。フォーマット完了までは絶対に電源を抜いたりエンジンを切ったりしないでください。致命的なエラーが発生する恐れがあります。

SDカード②

保存容量別のファイル生成数

SD カード	フォーマット時に 生成されるファイル数	イベント録画の ファイル数	生成ファイル のサイズ	録画時間 目 安
4GB	60個	20個	60MB	約4時間
8GB	90個	30個	80MB	約8時間
16GB	96個	32個	150MB	約16時間

※ 4GB未満、24GB以上のSDカードは使用できません。

※ 録画時間は車内環境や保存される状況によって多少の差があります。

※ 録画時間目安は、連続走行した場合の目安です。エンジンを切ったり、駐車モードで録画した場合は、録画時間が短くなったり、長くなったりします。

SDカードをフォーマットするとVIDEOフォルダの中にファイル(01-RECORD.ASF,02-RECORD.ASF,…)が生成されますが、ファイル名を変更したり、削除したりしないでください。変更すると本体がSDカードを認識できません。

常時録画ファイルとイベント録画ファイル

1. 本製品は常時録画ファイルとイベント録画ファイルの2種類が保存されます。容量がいっぱいになると、一番古いデータから上書き保存されます。
2. 一番古いファイルから順次上書きされるため、重要なデータは定期的にパソコンやCD-Rなどにバックアップしてください。
3. イベント録画は全容量のうち最大30%まで保存されます。

ボタン動作・音声案内・LEDランプ一覧表

内　容		ボタン動作	音声案内	LEDランプの状態
電　源	ON	―	システムを開始します	紫色　点灯
	OFF	―	システムを終了します	青色　点滅
録画状態	GPS受信時	―	GPS情報を受信しました	赤色　点灯
	GPS未受信時	―	―	赤色　点滅
SDカードが挿入されてない		―	SDカードを挿入してください	青色点滅
SDカードの不良		―	SDカードを認識できません	青色点滅
SDカード フォーマット	開始動作	△ ボタンを7秒以上押し続ける	SDカードをフォーマットしますか	青色+赤色　1回　点灯
	フォーマット開始動作	＋ ボタンを押す	SDカードをフォーマットします	青色　点滅
	フォーマット取消	― ボタンを押す	SDカードをフォーマットしません	―
ソフトウェアのアップデート		アップデートファイルがSDカードに入っていれば、自動的にアップデートします	アップデートモードです	紫色　点滅
音声録音	ON	＋ ボタンを3秒以上押す	音声録音を開始します	紫色　2回　点滅
	OFF	＋ ボタンを3秒以上押す	音声録音を終了します	紫色　2回　点滅
ボリューム調節	＋	＋ ボタンを押す（10段階調節）	メロディ 「ティントーン♪」	―
	―	― ボタンを押す（10段階調節）		―
イベント録画	自　動	―	メロディ 「ティロリロリン♪」	青色　2回　点滅
	手　動	△ ボタンを1秒間押す		青色　2回　点滅
駐車録画モード	ON	― ボタンを3秒以上押す	駐車モードで録画します	青色+紫色　交互点滅
	OFF	― ボタンを3秒以上押す	駐車モードを解除します	―

本製品の動作仕様は製品のアップデートによって変更される場合があります。ご了承ください。

専用viewerのダウンロード

1. 本体に挿入されているSDカードをパソコンのSDカードリーダーに差し込みます。
2. SDカードを差し込んで、該当のドライブをクリックすると次の画面が現れます。

[PC viewer_download]アイコンをダブルクリックし、Drive PRO HP のダウンロードページ「専用viewer」をダウンロードしてください。
または、**http://www.dreamware.jp/driverecorder/** から 専用viewerをダウンロードします。

3. 「DrivePROviewer.zip」を解凍して、専用viewerソフト[DrivePROviewer.exe]を実行してください。
※ パソコン設定によっては、ファイル拡張子[.exe]が表示されない場合があります。

専用viewerの使い方 ①

専用viewer [DrivePROviewer.exe] を実行すると、下記のような画面が表示されます。

■ 専用viewer画面

①	再生映像	⑧	次のファイルを再生
②	GPS連動地図（Googleマップを利用）	⑨	コマ送りで再生
		⑩	ボリューム
③	ファイルの時間	⑪	リスト表示をオフにする
④	3Gセンサー情報（衝撃情報）	⑫	プレイリストを開く
		⑬	ファイルリスト
⑤	再　生・一時停止	⑭	環境設定
⑥	停　止	⑮	再生画面を印刷
⑦	前のファイルを再生する	⑯	再生画面を保存

専用viewerの使い方 ②

ファイルを再生する

1. 下図右上の[プレイリストを開く]アイコンをクリックし、録画ファイルが保存してあるフォルダを指定します。通常はSDカード挿入ドライブを選択して[VIDEO]フォルダを指定してください。
2. リストから再生したいファイルをダブルクリックすると、映像が再生されます。

Status（録画状態の種類）		常時録画	30fps
		イベント録画	30fps
	Ⓟ	駐車録画	5fps
	⊗	録画失敗	—
Date	映像が保存された日時の表示です		
File Name	保存されたファイルの名前です		

※ イベント録画は、同一ファイル内で2回以上イベントが発生してもファイルを分けません。同一ファイルにて保存します。

アイコン詳細

プレイリスト表示をリセットする	フォルダを開く	再生	停止	前のファイルを再生	次のファイルを再生	コマ送りで再生	ボリューム

専用viewerの使い方 ③

地図との連動

1. GPS情報が受信されていると再生時に自動的にGoogle マップで走行位置を確認できます。

2. 経路確認

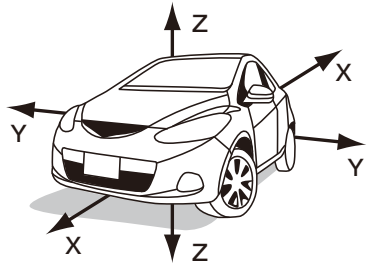
   専用viewer右上の をクリックすると、運転した映像と一緒に保存されたGPS情報を利用して地図上で移動経路を確認できます。
   再生ボタンを押す前に をクリックしてからお使いください。
   地図は、Google マップメーカーで作成された地図情報を提供しています。

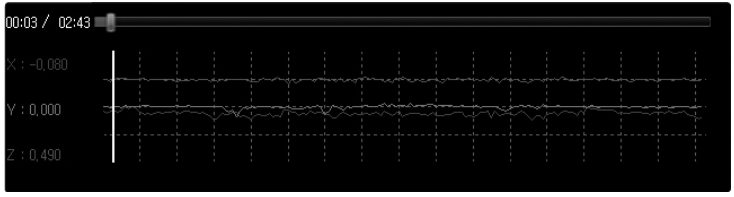
   ※ インターネットができる環境でのみ、地図が表示されます。
   GPSの受信が悪い場合は、録画映像のみが表示され、地図は表示されません。

専用viewerの使い方 ④

3Gセンサーのデータ分析

3GセンサーはX,Y,Z軸の値を抜き取り、専用viewerでその値をグラフに表示します。
グラフを通してドライバーの運転のクセなどを分析することができます。ただし、グラフの曲線は車種や路面状態によって多少異なります。**→3Gセンサーの感度調整は20ページ参照**





X軸 →車両の前後方向 **Y軸** →車両の左右方向 **Z軸** →車両の上下方向

再生画面の印刷、画面の保存

1. をクリックすると、再生されている画面を印刷することができます。

2. クリックすると、再生されている画面をJPEGファイルで保存することができます。

専用viewerの使い方 ⑤

環境設定と反映の仕方

1. をクリックすると、環境設定画面が表示されます。
2. 下記図①にてSDカードが挿入されているドライブを選択してください。
3. [環境設定]ウィンドウにて、録音オプション、駐車モード、3Gセンサー、ボリュームを設定してください。
4. 設定が終わったら必ず[保存]をクリックしてください。
5. **上記のSDカードを本体に挿入します。**
6. **エンジンをかけ、本体に電源を供給すると設定内容が記録されます（設定内容を記録するのに若干時間を要します）。**

※必ず5～6の手順を行ってください。

	名　称	内　容
①	**SDカード ドライブ選択**	SDカードのドライブ選択とフォーマットを行います。
②	**録　音 オプション**	映像だけの保存か、映像と音声をどちらも保存するかを選択します。
③	**駐車モード**	駐車モードでは30fpsから5fpsで録画します。車が一定時間停止していると自動的に駐車モードになって録画します。
④	**3Gセンサー 設　定**	3Gセンサーの敏感度を設定します(0～10)。0は3GセンサーOFFで、1が一番鈍感で、10が一番敏感です。 10にすると、車種、路面の状態により過敏に反応し、すぐにイベント録画になることがあります。テスト走行して調整してください。
⑤	**ボリューム 設　定**	操作音の音声メッセージの音量を調節します(0～10)。0はミュートモードになり、音声を出す場合は1－10の間で調整してください。

※ 本製品は出荷時に適切な3Gセンサーレベル、ボリュームレベルが設定されています。通常ご使用の場合は、改めて設定していただく必要はありません。

※ 3Gセンサーレベルはイベント録画に大きな影響を及ぼします。特に0にした場合はオフになりますので、ご使用の環境でどうしても必要な場合にのみ、再設定を行ってください。

ソフトウェアのアップデート

本製品は製品改善のため、ソフトウェアをアップデートする場合があります。アップデートのための作業は、ご自身でお願いいたします。出張等によるアップデートサービスは行っていません。更新は不定期です。

1．専用viewerのアップデート

http://www.dreamware.jp/driverecorder/から専用viewerをダウンロードしてください。

2．本体のソフトウェアのアップデート

http://www.dreamware.jp/driverecorder/からソフトウェアをダウンロードしてください。
SDカードの最上位フォルダに「oracom.csm」ファイルを保存します。製品にSDカードを入れて電源を連結すると、紫色のランプがつき、『アップデートモードです』という音声が流れてダウンロードが始まります。完了したら、再起動を始め、自動的にシステムが開始されます。

※ アップデート中は電源ケーブルを外したり、エンジンを切らないでください。データが壊れる場合があります。

3．取扱説明書のダウンロード

新しい取扱説明書が更新された場合
http://www.dreamware.jp/driverecorder/から取扱説明書をダウンロードできます。

上記内容はすべて不定期で更新されます。

製品仕様

名　称	Drive PRO	音声案内	内蔵スピーカー	
製品型番	DP-V1	スピーカー出力	0.9W　8オーム	
カメラ撮像素子	1/4インチCMOSカラー	GPS	U-BLOX5	
画素数	有効画素数130万画素	本体寸法（mm）	94×49×24　※ブラケット、SDカード除く	
画角	水 平：111.6°　垂 直：83.6° 対 角：140.4°	重　量	65g	
画像解像度	640×480ピクセル	パソコン 推奨環境	ＯＳ	Windows XP, Windows Vista, Windows 7
録画記録方式	ASFファイル（MPEG4圧縮方式）		グラフィック	XGA（1024×768）以上の 解像度
ビデオ出力	3.5φ3極ケーブル （ケーブルは付属していません）		CPU	Pentium4 2.4GHz及び 同等以上
電源電圧	DC12V～24V（マイナスアース）		メモリ	Windows XP, 128MB以上
動作温度範囲	−20° ～ +70°			Windows Vista 32bit/64bit, 512MB以上
動作湿度範囲	10%～75%（ただし結露なきこと）			Windows 7 32bit , 2GB以上
フレームレート	走行時：30fps　駐車モード時：5fps		インター ネット 推奨環境	768kbits／秒（google推奨）
記録方式	常時録画、イベント録画			
記録データ	日時、速度、3Gデータ、映像ファイル			
記録メモリ	SDHCカード対応（推奨カードあり） 4GB～16GB　4Gカード付属			
音声録音	○（ON/OFF設定可能）※初期設定はOFF			

保証書

型　番	V1-DP1
お客様の名前	フリガナ
住　所	〒 TEL：
お買い上げ日	年　月　日
保 証 期 間	1 年
販 売 店 名	（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて大切に保存してください。

SAMPLE

<保証規定> 次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

- お買い上げ後の輸送･移動･落下等による故障
- 取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかった原因による故障
- 火災･塩害･異常電圧･地震･雷･風水害･その他天変地異などによる故障
- その他、製品自体の欠陥ではない外部原因による故障
- 当社サービスセンターの修理技師ではない者が修理または改造し故障した場合
- 日本国外での使用は保証の対象外となります。

※ お買い上げ日、販売店名欄が記載漏れの保証書は無効となりますので、必ず購入店に記載してもらってください。

※ 保証期間終了後は有料にて修理･交換をさせていただきます。

Dream Ware 株式会社ドリームウェア
〒163-6023 東京都新宿区西新宿6-8-1 新宿オークタワー23F
TEL：03−5323−0222 FAX：03−5909−1777
URL：http://www.dreamware.jp/

MADE IN KOREA
V1-DP1 13212102